未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２３・１１・１

校長室通信　　No. ３２

読書百遍（どくしょひゃっぺん） 意自ずから通ず（いおのずからつうず）

「読書百遍 意 自から通ず（どくしょひゃっぺん　い　おのずからつうず）」という言葉があります。

中国の本の中の言葉で、「どんなむずかしい本でも、100 回読めば、自然に意味がわかってくる」という意味です。

本を 100 回読むなんて、できないと思いますよね。でも、昔の人は、１冊の本を 100 回くらい読んでいたのです。本屋さんがない時代は、1 冊の本を手に入れるために、自分で、一字一字、うつしていたのです。

昔、フランスに、ファーブルという有名な生物学者がいました。

彼は、32 歳の時、1 冊の本に出会いました。レオン・デュフールの『フシダカバチの生活』という本です。

彼はこの本を 100 回以上読み、そこから彼は、たくさんのことを学びました。その後、彼は、55 歳から 30 年かかって、『昆虫記』という全 10 巻の本を完成させました。世界的に有名な『昆虫記』を書いたファーブルの出発点は、1 冊の本との出会いだったのです。

10 月 25 日（水）から、梅が丘小学校では「読書週間」ということで、朝の時間を活用しての「毎日読書」等に取り組んできました。みんなにはこれからも、たくさんの本を読んでほしいと思っています。

そして、おもしろそうな本に出会ったら、くり返し、読んでみてほしいとも思っています。そこから、何かがつかめるはずです。

読書から得ることができるものは、きっと「無限」だと思います・・・。

10月29日（日）に「梅が丘まつり」が開催されました!!

10 月 29 日（日）に、「梅が丘校区地域協働協議会」主催の「梅が丘まつり」が、打上住宅４棟集会所前広場にて開催され、そのお祭りの中で、梅が丘小学校の５・６年生の有志の人たちが、「梅小ソーラン」を踊ってくれました。

「梅小ソーラン」としての演舞は、今回で最後となりますが、５・６年生が、今年度、「運動会」・「大阪メチャハピー祭」・「梅が丘まつり」等で披露してくれたすばらしい踊りは、たくさんの人たちに、大きな勇気と感動を与えてくれました。これまでの先輩方の伝統を引き継ぎ、すばらしい踊りを披露してくれた５・６年生のみんなに、心から感謝しています。本当にありがとう！！

最初の「構え！」の静寂からくり出す踊りは、すばらしかったです。これまでの練習の成果が出ていましたよ。

少し肌寒い気候でしたが、迫力あるすばらしい踊りを披露してくれたおかげで、会場は熱気に包まれました！！

地域の方々、保護者の方々など、多くの方々にお越しいただく中、梅小の在校生の人たちもたくさん来てくれていました。そんな中、低学年の人たちが、曲にあわせて一緒に踊ってくれていた姿が、とても印象的でした・・・。